

R NISSAY IT Report



NISSAY IT「RPAソリューション」導入事例のご紹介

当社は、広い視野でおお客様の業務の最適化を図りつつ、RPA導入を成功に導きます。

活用事例1

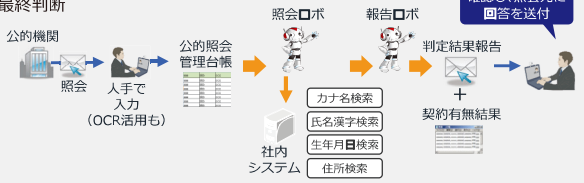
公的機関からの照会を受けた対象者の契約の有無を、社内システムのデータを照会しチェック

- ・公的機関から照会を受けた該当者の情報を、人がデータ化
- ・ロボットが社内システムにログインし、データ化された情報を基に、該当者の契約有無を確認
- ・契約有無を担当者にメール報告し、人が最終判断

担当者は
契約有無結果を
確認し、照会元に
回答を送付

効果

- ◇コスト削減
事務工数を削減
- ◇業務効率化
生産性向上により、処理滞留を改善



活用事例2

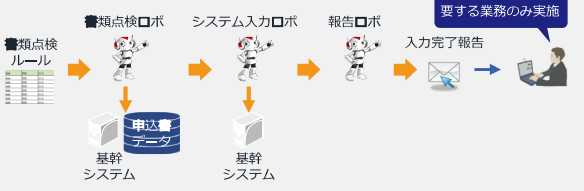
書類不備チェックや基幹システムへの入力作業を代行

- ・書類点検ルールを人が定義してデータ化し、これを基にロボットが顧客からの申込書類・請求書類を点検
- ・点検により書類不備が無ければ、商品の種類等に応じて、基幹システムにデータを入力
- ・処理結果を担当者にメール報告

担当者は判断を
要する業務のみ実施

効果

- ◇コスト削減
事務工数を削減
- ◇品質向上
点検作業・入力作業の品質向上を実現



活用事例3

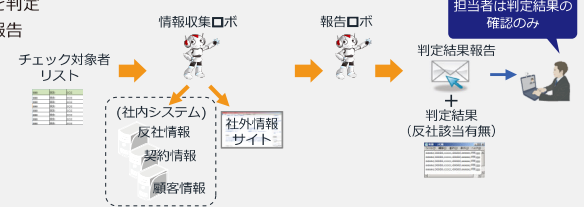
新規契約・保全時の契約情報から、反社会的勢力の対象者有無をデータ照会

- ・「チェック対象者リスト」を人がデータ化し、これを基にロボットが社内外のシステムより情報を取得
- ・反社会的勢力の対象者名との一致有無を判定
- ・該当有無の判定結果を担当者にメール報告

担当者は判定結果の
確認のみ

効果

- ◇コスト削減
事務工数を削減
- ◇品質向上
反社会的勢力チェック精度の向上による
適切な契約管理



この記事に関するお問い合わせは、以下へお願いいたします。
 コンサルティング本部: 滝林、小幡
 TEL: 03-5532-3030 FAX: 03-5532-3022
 E-mail: info@nissay-it.co.jp



ニッセイ情報テクノロジー株式会社

〒144-8721 東京都大田区蒲田5丁目37番1号 ニッセイアロマスクエア TEL: (03)5714-4624 FAX: (03)5713-0178
<http://www.nissay-it.co.jp>

※本文中に掲載されている商品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。
 All Rights reserved. Copyright © 2017 Nissay Information Technology Co., Ltd. (本誌記事の無断転載・コピーを禁じます)



ニッセイ情報テクノロジー株式会社

01

活況を呈する RPA市場

～Digital Labor への期待～

ワタシの時代が やってきた!



昨今、RPAをテーマとした記事が、新聞や雑誌等のメディアで賑わいを見せており、RPA市場がかつてない活況を呈した状況となっています。

RPAに注目が集まっている背景は、主に、「働き方改革」の盛り上がりと、「労働人口の減少に伴う人手不足」が課題視されている点であり、人に代わる「Digital Labor(仮想的労働者)」として、多くの期待を集めています。

◇ RPAに注目が集まる主な理由とは？

1. 「働き方改革」での業務効率化の手段

今、多くの企業では、「働き方改革」に熱を入れて取り組んでいます。RPAはシステム開発とは異なり、ユーザー部門が主体となって、ITを探り入れた業務効率化を柔軟に推進できるため、働き方改革の取組みの手段として注目されています。

2. 人手不足を解消する労働力としての期待

各企業においては、労働人口の減少に伴う人手不足が経営課題の1つとなっています。RPAは、人手の作業(パソコン操作)を代替し、人に代わる労働力として機能します。つまり、途中で辞めてしまうリスクや、残業等の労務管理を気にすることなく、仕事を任せられることができます。

3. RPA製品の充実と、ロボットへの信頼度向上・業務適用範囲の広がり

昨今、RPA製品のラインナップや機能が充実し、企業のRPAに対する信頼度が向上しています。また、AI(人工知能、Artificial Intelligenceの略)や他のソリューションとの融合により、RPAの適用可能な業務領域に広がりを見せていることから、期待と需要が高まっています。

02

RPAとは

チャームポイントを 教えるよ!



RPAとは、主にオフィスワーカーが行う業務を対象に、その業務でのパソコン操作を「ロボット」に覚え込ませることで、人の作業を代替するソフトウェアのことです。

WebブラウザやExcel等のMicrosoft製品、様々な業務アプリケーションを横断的に処理できる点が、RPAの特徴の1つですが、最近ではHostエミュレータやDB等、サポート範囲が拡大しており、様々な業務で活用できるようになってきました。

API(Application Programming Interface)の活用により、AIや他のソリューションとの融合を得意とするもの、コールセンター業務に強いもの、堅牢性が高くセキュリティに優れているもの等、様々な特徴を持つ製品が出てきています。

特性・利点

- 1 早い!** 基本的には既存システムの改修を伴わず、また、アジャイル型の開発手法により、テクノロジを採り入れた業務効率化を早期に実現できます。
- 2 簡単に!** GUIベースのものや、人の操作を自動で読み取るもの等、プログラミングが不要で、簡単にロボットを作れる製品が多くあります。
- 3 安く!** スモールスタートが可能で、人手の作業の置き換えとなるため、効果を容易に見込みやすいです。また、低コストでRPAを導入できるため、投資回収しやすく、これまで投資できなかった業務分野にも広く適用しやすくなります。

適する業務

- ◇ 大量で、定型的(かつ反復的)な業務
- ◇ 複雑な判断を要しない業務
- ◇ 繁閑の差のある業務
- ◇ 夜間や休日等、人が動かない時間の業務
- ◇ 処理対象をデータ化できる業務

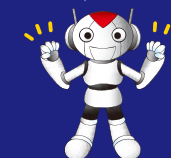
導入効果

- ◇ QCD(品質・コスト・処理時間)の向上
(例)
 - ・事務品質の向上
 - ・事務工数・人件費等のコスト削減
 - ・業務効率化
- (生産性向上・処理時間の短縮化)

03

RPA導入におけるポイント

ワタシを 効果的に 使うには!



RPA導入に際しては、セキュリティ要件やリスク等の洗い出しと、導入目的・期待効果を整理・共有することが重要です。

また、RPAの特性上、IT部門に関わらず、ユーザー部門でも容易にロボット開発できますが、反面、各部門が無秩序に活用し始めると、統制が利かずに問題が生じる恐れがあります。

そこで、初期導入の段階で、検討すべき要素を的確におさえ、全社レベルでRPAを管理・統制する仕組み・体制を整えることが肝要です。

もちろん、RPAの持ち味である“ユーザー自身による柔軟な業務効率化”を妨げないよう、各部門やユーザーによるRPA活用の一定の自由度を確保する必要はあります。

一方で、お客様自身でRPAをゼロから導入するには、知見・ノウハウの不足等により、思うように進まないこともあるでしょう。その場合には専門家の支援の下、最初の成功事例を作り、以降の展開時にはお客様自身で自立して推進できる体制を整えることも、1つのやり方です。



導入を成功に導く4つのポイント

point

1 まずは小さな成功体験を!

初期段階では、小さな業務をモデルとし、これにRPAを適用してみることで、まずは効果を実感することが大切です。小さな成功体験を積むことで、RPA開発の動所を短期間で会得でき、効果的に本格展開への道筋を立てることができます。

point

2 業務を見る化し、見直そう!

現状の業務手順に対し、単純にRPAを適用すると、効果が出ないか、限定的な効果に終わってしまいます。適用業務のプロセスや判断ポイントを見る化し、手順を最適化した上でRPAを適用することで、効果の最大化が期待できます。

point

3 人とロボットの協業を!

ロボットに全てを任せようとは考えず、複雑な判断を要する処理や例外処理については、人に委ねることも必要です。但し、最近ではAIとの融合により、一定の判断を伴う処理もロボットが担えるようになってきています。RPAの本格展開の段階では、RPA製品の特徴に応じて、ロボットの役割を広げていくのもよいでしょう。

point

4 ロボット運用管理体制をしっかり!

いわゆる野良ロボット化しないよう、ロボットの運用・管理をどのように、どういう体制で行うべきか、初期導入段階でガイドラインとして定めておくことが重要です。また、セキュリティ要件やリスク対策(ロボット処理のブラックボックス化防止等)も、検討が必要です。

04

当社のRPAソリューションについて

お友達を紹介するよ!



当社ソリューションの特徴

- 1 「スピーディー」「低価格」にサービス提供**
- 2 RPA導入をトータルサポート**
- 3 本格展開に向けたサポート**

当社の金融機関の業務・システムに係るノウハウ、および、過去のRPA導入実績から導かれた「フィジビリティの高いサービス」を、「スピーディー」「低価格」で提供します。

業務分析やロボット開発等、RPA導入をトータルにサポートします。また、当社の知見・実績を活かし、業務最適化に向けた提案もいたします。

お客様自身でRPAの保守や他業務への展開を推進できるよう、研修等によるフォローアップも可能です。

(ご参考) RPA導入Step例

